

日本音楽コンクール フルート部門本選2位入賞 鎌田さん“凱旋”報告

皆川鶴岡市長が祝福

第91回日本音楽コンクール（毎日新聞社、NHK主催）のフルート部門本選で2位に入賞した鶴岡市出身のフルート奏者・鎌田邦裕さん（29）が4日、鶴岡市役



所を訪れ、皆川治市長に同コンクールの結果を報告した。

権威と伝統のあるクラシック音楽のコンクールで、若手音楽家の登竜門として知られている。フルート部門は3年に1度行われ、17歳が対象。今回は191人が応募し、3次の予選を通った4人が先月26日の本選に臨んだ。鎌田さんは聴衆の投票で決まる岩谷賞（聴衆賞）も受賞した。

本選後初の帰郷で、郷里への“凱旋”ともなった市役所訪問で、皆川市長は「素晴らしい成績。鶴岡の若い人たちへの大きな刺激にな

る」とたたえた。

鎌田さんは「いろんな方々から祝福を頂いた。2位という結果に悔しさはあるが、お客さんに喜んでほしい聴衆賞に選ばれたことがとてもうれしく、誇りに思う。大きな夢を持ち自分の限界を決めずに理想を追い続けることの大切さを、若い人たちに伝えたい。鶴岡で育ててもらった恩返しができるよう、さらに頑張っていきたい」と語った。今月16日に都内で表彰式が行われ、同日午後7時半からNHK・FMラジオで本選の演奏が放送される。

鎌田さんは鶴岡南高から京都市立芸術大音楽学部に進み、同大大学院音楽研究科修了。現在は京都を拠点に活動している。学生時代から毎年、郷里でリサイタルを開いており、来年3月18日には庄内町響ホールで10回目の記念リサイタルが予定されている。

郷里への“凱旋”で皆川市長にコンクール入賞を報告した鎌田さん（左）